

あすなろ通信 51号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ

事務局 〒728-0006 三次市畠敷町 1497 番 1

(TEL 0824-55-6301 FAX 0824-55-6302)

HP <http://asunaro-juku.sakura.ne.jp>

発行日 2023年9月15日

今月のことば

「どうするか」を考えない
人に「どうなるか」は
見えない。

野村 克也
元プロ野球選手・監督
(1935~2020)

あすなろ塾の今

入塾生徒数の状況

今年度は四月当初に一年生六人、二年生五人、三年生八人の計十九人でスタートしました。生徒たちは意欲的に学習に取り組んでおり、補講を希望する生徒には通常開塾時間外の補講を実施しています。特に三年生は、例年になく多くの生徒が夏休み中も昼間に塾に来て計画的に勉強しました。

今年度の入塾状況の特徴として、一・三年生は全員が八次中学校の生徒であることがあげられます。二年生にはかつて在籍していた兄と同じ塾に通わせたいという保護者が、知り合いの同級生を誘って十日市中学校から入塾していますが、塾生の約九割が八次中学校の生徒です。地域に根ざした塾、そして面倒見の良い塾として認められつつある証拠と喜ぶ反面、授業料減免率が50%を割る現状は、必要としている生徒や保護者にあすなろ塾の開塾精神が伝わり切っていないのではないかと考えています。

三月には八次地区の民生委員の集まりに影山塾頭が出席して、「経済格差を教育格差にしない」というあすなろ塾の開塾精神を周知してもらった機会を得ました。

家庭訪問の実施

七月二十二日、二十三日の二日間家庭訪問を実施しました。あすなろ塾では家庭訪問を大事にしています。それは、塾や学校の場では見せることがない子どもの姿や、子どもの抱える課題を家庭訪問を通じて初めて知ること多いからです。これまでも家庭訪問によって把握したさまざまな課題を子どもたちの指導に活かしてきました。今後も家庭訪問はあすなろ塾の活動の大切な柱として取り組んでいきます。

クリーン作戦

九月三日(日)午前七時から生徒、保護者、職員計四十二名で地域奉仕活動(クリーン作戦)を実施しました。コロナ感染拡大や悪天候等の影響で三年間中止してきたクリーン作戦ですが、約一時間五コースに分かれて清掃活動を行いました。詳しくは次ページの「二〇二三年度クリーン作戦」をご覧ください。

私たちはあすなろ塾の設立精神である「経済格差を教育格差にしない」ことの意義を再確認し、この精神を具現化できるようにスタッフ一同全力で取り組む所存です。皆様のさらなるご理解、ご支援をお願いいたします。

2023年度 塾生 募集

あすなろ中学部

○少人数&個別指導で学べます。

○コースは2種類。

◇英数コース(週2回)

月14,000円

◇理社コース(週1回)

月6,000円

○授業料減免措置があります。

◇ひとり親家庭は半額免除

◇生活保護家庭は英数コース 月2,000円、理社コース 月1,000円

○あすなろ塾は授業料以外の経費(テキスト、模擬試験、夏季講座等)は徴収いたしません。

入塾受付

期間 随時(ただし、火・水・金曜日)

時間 16:30~18:00

場所 あすなろ塾

○電話でも受け付けます。

TEL 0824-55-6301



二〇二三年度クリーン作戦

九月三日（日）午前七時から地域奉仕活動（クリーン作戦）を開催しました。毎年計画しながら、新型コロナウイルスの感染拡大や、天候不順などで中止が続き、四年ぶりの実施となりました。

参加者は生徒一八名、保護者、家族一九名、職員五名の合計四二名でした。



挨拶する松本理事長

午前七時に松本信司理事長が挨拶をし、「経済格差を教育格差にしないというあすなろ塾の設立理念に賛同する多くの方々の支援を受けて運営が成り立っている。応援して下さる方々に感謝の気持ちを表す一つの活動がクリーン作戦だ」と活動の意義を説明しました。

その後、担当の守本が行動計画の説明をしたのち、参加者は一年生生徒グルー

プ、二年生生徒グループ、三年生生徒グループ、保護者二グループの五コースに分かれて一斉清掃活動を行いました。



活動中

約一時間の清掃活動で写真の通り多くのゴミを集めることができました。早朝からの活動で、心地よい汗を流し、気持ちも晴れやかになりました



回収したごみ



生徒全員集合

三年生の作文から

今年の夏はかつて経験したことがないほどの猛暑でしたが、過去最多の三年生生徒が昼間の塾を利用して自主学習に励みました。土日、お盆休みを除いてほぼ毎日、通ってきた生徒もいます。

新塾舎に転居して新しいエアコンを導入したおかげで、暑さに負けぬ快適な学習環境を提供することができたと思います。

そんな三年生が、夏休みを終えるにあたり、現在の心境とこれからの目標、決意を作文してくれましたので紹介します。

夏休みを終えて

三年生 A

今年の夏休み、私は特に勉強を頑張りました。中学一、二年生の時の夏休みはあまり勉強をせず、友達と遊んだり、一日中ゲームばかりをしていました。しかし、今年の夏は受験を意識し、暇さえあれば塾で自習したりなど毎日勉強をしました。学校から出された課題をひたすらやり続けました。息抜きに友達と遊んだりすることもありませんでした。

七月の終わりにはミヨシ電子株式会社が開いて下さった「励ます会」に参加をし、日々の受験に対してのやる気を高めることができました。

夏休みを終え、周りも受験を意識してくるようになりました。学校や塾での勉強も本格的になってきました。中学最後の夏休みが終わり、次は高校での生活が待っています。私は特に高校では部活動を頑張りたいです。私はこれまでの中学生生活であまり部活動を頑張ることができませんでした。だから高校では、仲間と協力して悔いのないような部活動をすることも目標にして高校生活を送りたいです。

受験まで残り六ヶ月。まだまだこれらが勝負。これから志望校に合格できるように頑張っていこうと思います。

高校受験に向けて

三年生 B

私は、この夏高校受験に向けて、学校の宿題を頑張ってやり遂げました。今年の夏休みは朝と昼に塾に行って勉強しました。なぜなら塾の先生が「この夏に出される宿題は受験対策になるので頑張っ

た方が良い」と言っていたからです。

今、高校入試に向けて心配なことは昨年から高校受験に追加された自己表現です。自分の長所や、これまでに頑張ってきたことをちゃんと伝えるかどうか心配なのです。なぜなら私は人とのコミュニケーションを取ったりするのが苦手、自己表現で緊張して言えなかったらどうしようかと不安になってしまいます。緊張などをしないために自己表現の練習をしていきたいです。

受験本番まであと六ヶ月になりました。私はあまり家では勉強をしていなかったのですが「もう六ヶ月」聞いて少し焦っています。そろそろ本格的に受験勉強に向けて頑張ろうと思いました。

高校に入ってやりたいことは、体育祭や文化祭でいろんなことをしたいです。なぜなら中学生のときにはコロナが流行ったりして、あまり行事がなかったからです。高校に入ったら今まで出来なかったことが出来るとわくわくしています。そして、中学校のときよりもっとたくさん友達を増やしたいです。

果てるまで

三年生 C

私は今年の夏休みは、初めて勉強に本気で取り組みました。今までで一番長い時間、多くの科目の内容を勉強しました。

夏休み初めの一週間は、早朝に学校の補習、昼から夕方まで塾、夕方六時からまた塾がある日もあり、ハードな日程になりましたが、自分で決めて、一週間真面目にちゃんと行きました。一週間続けて行ってみた感想は、朝起きるのが辛かったということが一番です。

受験本番まであと6ヶ月、今年の夏休みにどれだけ勉強をするか、どう自分を変えられるかが勝負だと思い、本気で取り組みました。自分が受験生だということを実感し、夏休み中はほとんど外出もせず机に向かいました。勉強するというモチベーションを上げるために、部屋をキレイにしたり、勉強を自分のペースで頑張るなどの工夫を自分で考えてすることができるようになりました。

しかし、ここまで「勉強ばかり」の夏休みは初めてだったので、受験へのプレッシャーも加わって、夏休み後半には、疲れがどつと出てきました。集中力も切れがちで、「果てた！」と思いました。

二学期も始まったので、気分を改めて、
気力を充電してまた頑張りたいです。

GOAL

三年生 D

この夏に頑張ったことは、宿題を終わ
らせるということです。

一、二年生では、宿題を終わらせると
いうことはなんとなく当たり前のことだ
と思っていました。塾の先生が、「三年
生の夏休みに出される宿題は、受験を意
識して出されていて、受験勉強そのもの
だ。」と言うのを聞いて、絶対に終わら
せようと決心しました。自分では、夏休みを
受験生ということを感じて過ごせたと
思います。

もう受験本番まで約六か月になりました。
この六か月は、猛勉強をして過
ごしても、今まで通りゆっくり過ごして
も、六か月という事実は変わりません。だか
ら、この約六ヶ月という期間をどうい
う気持ちで過ごすかが大切だと思います。

また、ゴールは、一つ達成したらまた
新しい目標が出来て次のゴールになりま
す。今は受験がゴールでも、その先に志
望校合格、高校卒業と伸びていくので、

そのときどきのゴールに向けて一生懸命
頑張っていきたいと、この夏休みを通し
て改めて思いました。

夏休みを終えて

三年生 E

私は、この夏特に夏休みの宿題を頑張
りました。今年を受験生ということもあ
り、夏休みの宿題が多く出され、一人
ではなかなか終わらすことができず大変
でした。英語や数学、に限らず、すべての
受験科目が一年生のときからの問題があ
り、忘れていたものもあって友達や先生
に聞いたりして、何とか終わらすことが
できました。

しかし受験本番は自分一人で問題を解
くことになるので、私にはまだまだやる
べきことがたくさんあるのだということ
がわかりました。

そのため私は、分からない所や苦手な
所などを先生や友達に聞き、理解するま
で教えてもらったり、苦手な所を何度も
繰り返し復習することがとても大切な
ことだと思いました。

受験本番まであと6か月、私はこれか
ら塾のみんなと励まし合い、切磋琢磨

し合いながら頑張っていきたいと思いま
す。

例年より頑張った夏休み

三年生 F

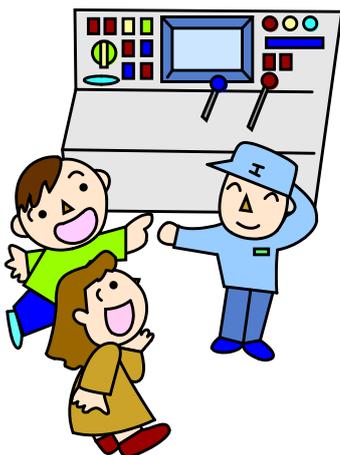
私は今年ほど頑張った夏休みは無いと
思います。今までは、夏休みが始まって
も一週間はロクに課題を進めることがで
きていませんでした。部活を言い訳にダ
ラけていました。しかし、そんな自分を
変えようと、あらかじめ「塾で勉強した
い」ということを先生に伝えて、強制的
に勉強をしなければならぬ環境を作り
ました。そのおかげで、一定のペースで
課題を進めていくことができ、今までの
ように、夏休み終了間際に課題を沢山終
わらせなければならぬということには
なりません。今年も計画的に課題
を進めていくことはできませんでしたが、
ドラクエみたい自分を制御することはでき
たと思います。

そして、これからの自分との向き合い
方も分かりました。おかげで家では自分
の好きなことも沢山できました。私のモ
ットーである「無理をせずに頑張る」が
初めてできた気がします。

七月の終わりに三年生は会社見学にミ
ヨシ電子に行き、励ます会を開いてもら
いました。社員食堂でカツカレーもいた
できました。

お昼を食べさせてもらっているときに、
説明や案内をしてくださった課長さんと
色々とお話をさせていただき、とてもや
る気が出ました。

応援してくださる方々に笑顔でお礼を
言えるようこれからも頑張つて勉強し、
第一志望校に受かりたいです。



頑張った夏休み

三年生 G

今年の夏休みは、いろいろな事を頑張った夏休みでした。学習面では、受験があるので、受験に向けて学校からはたくさん宿題が出ました。実際に宿題を手にする夏休み前には、「夏休みは長いし、早く宿題を終わらせて受験勉強をしないといけない。」と思っていたのですが、いざ夏休みに入ると朝早くから部活動があり、帰ってからはやる気がなくて、結局家ではやる気が出ず宿題が進みませんでした。

それで、最低でも一週間に二回は昼間に塾に行つて勉強しようと思つて自分で決めて塾に行きました。そのおかげで少しずつ宿題もすることができました。

今年の夏休みは、勉強以外に部活動も頑張りました。部活動は陸上部の長距離に入つていて、お盆までは朝早くから毎日練習がありました。そして長距離は毎日練習しないと体力が低下し、タイムが落ちるので、学校の練習がない土、日曜日は、毎日走ったり、遠くまで行つて練習したりするなど、週二回は競技場に行

つて練習したりして、丸一日が練習で潰れることもありました。

しかし、勉強も頑張らないといけなかったのも、勉強と部活の両立がとても難しかったです。夏休みは終わったけれど、受験本番まではあと六ヶ月なので、一年生、二年生の復習などをして受験に向けて頑張つていきたいと思えます。



中学最後の夏休みを終えて

三年生 H

中学最後の夏休みを終えた感想は、人生で一番勉強したということです。

一、二年生の時は部活動があつて、夏休みの昼間に塾に行く余裕があまりなかったのですが、三年生になった今年は、部活動を引退したので、塾に勉強しに行く余裕が出てきて、合計十回以上も塾で勉強する機会が出来ました。

受験本番まであと六か月にまで迫つた今の、率直な想いは、一言でいうと「不安」です。その不安を解消するには「やるしかない」と自分に言い聞かせて勉強するしかありません。

中学校生活の学習面で大切にしてきたことは、定期テストの目標点を決めて、それ以上の点を取ることでした。一、二年生の頃はこの目標を達成することを大切にしていたのですが、三年生になって、大切にすることを変えました。すべての教科の目標点達成ではなく、得意な教科で百点を取るといふ目標に変えてそのために計画的に勉強することを大切にしています。

高校では部活動をもっと頑張りたいと思つていきます。高等学校では部活動の数が減つたり、部員数が少なくて困つているという話を聞きます。志望している高等学校では、学校案内のパンフレットやオープンスクールで、これまで続けてきたスポーツが活躍している部活動として紹介されています。その志望校に入つて部活動を頑張るためにまずは勉強を頑張りたいです。



砦

「あすなる塾」に集う

三年生のみなさんへ

影山 克典

みなさん、すっかり受験勉強に取り組んでいますか。夏休みは部活動からも引退し、まさに勉強が中心の生活を送ってきたと思います。

もちろん塾の方でもそのための態勢を整え(補習等)、みなさんの頑張りを支援してきたところです。

しかし、そろそろみなさんには疲れが出てくる頃でもあります。頑張り続けることのしんどさや不安が、ついこの状況からの逃避に傾きやすくなります。

そのような時期だからこそ、もう一度考えてほしいことがあります。別の言い方をしますと、今後の自分のあり方について、もう一度腹決めをしてほしいということです。

できるだけ単純化して考えることにします。

受験にしても、他のことにしても、何かの目標を持つための努力が必要であり、そしてその結果というものが出てきます。みなさんはどのパターンが好ましいですか。

結果が良いにこしたことはありませんから①か③が良いと判断すると思いません。

しかし、現実起こりうる可能性を考えますと①、②、④のどれかだと容易に判断できません。

	努力	結果
①	○	○
②	○	×
③	×	○
④	×	×

そこでみなさんにはどれを選択すべきか考えてみていただきたい。

	努力	結果	可能性	選択
①	○	○	○	?
②	○	×	×	?
③	×	○	×	?
④	×	×	○	?

落ち着いて考えてみれば明らかですが、選択としては①か②しかあり得ないということです。すなわち一生懸命努力をしてみるしかないということです。たとえ結果が②となっても、努力したことで得られるものがあると考えられまし、何もしないで③のように結果だけを夢見る生き方では将来的には暗い人生

が待っていると言っても過言ではありません。

わかりきったことをくどくどと言っているようですが、今の時期だからこそ、あえて言わせてもらいました。

私自身もみなさんの頑張りに応えるために、今後とも精一杯頑張るつもりです。

共に頑張りましょう。

二〇二三年九月

「支援していただいている企業・団体

・ミヨシ電子株式会社

(三次市東酒屋町)

・(株)三次衛生工業社

(三次市四拾貫町)

・土井建材有限会社

(三次市東酒屋町)

「支援していただいた皆様

・瀬川順子

(三次市三良坂町)

・半田孝江

(三次市三良坂町)

・笹田富子

(福山市)

・小根森直子

(三次市十日市東)

・匿名

(三次市三良坂町)

・匿名

(庄原市)

NPO法人あすなる・賛助会員募集

賛助会員：ボランティア活動は出来ないが、寄付金等でご協力できる企業や個人

個人年会費：1口(5,000円)以上

企業等年会費：1口(10,000円)以上

特典：あすなる通信送付(年3回発行)

問合せ：あすなる通信の発行住所と同じ(TEL・FAXとも)